２０２５年１０月１４日

News Release

いい出会い ふくらむ未来
百十四銀行

新たな投資信託商品の取扱いを開始します！

百十四銀行（頭取 森 匡史）は、2025 年 10 月 14 日（火）より、投資信託新商品の取扱いを開始しますので、下記のとおりお知らせします。

「あおぞら・新グローバル分散ファンド（限定追加型）2025-10（愛称：ぜんぞう 2510)」は、日本を含む世界の株式及び債券に広く分散投資を行う投資信託です。

当行は、今後もお客さまのニーズに幅広くお応えし、お客さま本位の商品提供につとめてまいります。

記

● 商品の概要（詳細は別紙の販売用資料をご参照ください）

商品名	あおぞら・新グローバル分散ファンド（限定追加型）2025-10（愛称：ぜんぞう 2510）
運用会社	あおぞら投信株式会社
特色	1. 日本を含む世界の株式及び債券に広く分散投資を行うことで、インカムゲインの獲得と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います 2. 株式の組み入れ比率を段階的に引き上げます 3. 基準価額が 11,500 円に到達した後は安定的な債券運用に切り替えます
申込単位	1万円以上1円単位
申込手数料（税込）	1,000万円未満：1.65%、1,000万円以上：1.10%
積立投信	対象外
ＮＩＳＡ取扱い	対象外
取扱開始日	2025年10月14日（火）
取扱店	当行の全ての本支店及び出張所またはインターネットバンキング

以 上

来店予約サービスのご案内

ご予約いただいたお客さまを優先的にご案内するサービスです。
こちらをご利用いただくと待ち時間もなくスムーズにご案内させていただきます。
店頭でのお手続きやご相談をご希望のお客さまは右記二次元バーコードからご確認ください。

株式会社 百十四銀行 高松市亀井町5番地の1 TEL 087-831-0114（大代表）

販売用資料　2025.10

愛称

ぜんぞう2510

あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2025-10

追加型投信／内外／資産複合

本資料のご利用にあたってのご留意事項等

■本資料は、あおぞら投信株式会社（以下「当社」ということがあります。）が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡しいたしますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は値動きのある有価証券等（外国証券には為替リスクもあります。）に投資するため、基準価額は変動します。したがって、投資元本および分配金が保証された商品ではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。■本資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。■本資料に記載された市況や見通し（図表、数値等を含みます。）は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の動向や結果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。■投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象とはなりません。また、証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。■投資信託は金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」および目論見書補完書面をご覧ください。

■ 投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

百十四銀行

商 号 等　株式会社百十四銀行
登録金融機関　四国財務局長（登金）第5号
加入協会　日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会

■ 設定・運用は

AOZORA あおぞら投信

商 号 等　あおぞら投信株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第2771号
加入協会　一般社団法人投資信託協会

よゆうをつくろう。
ミライはじめよう。

資産づくりの話を、もっともっと、オープンに語り合える世の中へ。

そのために投資を安心して使いこなしてほしい、

そして余裕ある生活を楽しんでいただきたい、

その想いで誕生したのがこの「ぜんぞう」です。

目標は**投資期間5年、基準価額15%の上昇で、**

資産を戦略的に育てること。

投資が限られた人だけのものではなく、

みんなが使える「生活スキル」になると信じて。

さあ、あなたも。

「生活スキル」習得までの3ステップ

INDEX

STEP 1 投資の原理原則を知ろう! …… P.03

STEP 2 ぜんぞうを知ろう! …… P.07
投資期間5年、基準価額15%の上昇を目指すしくみとは

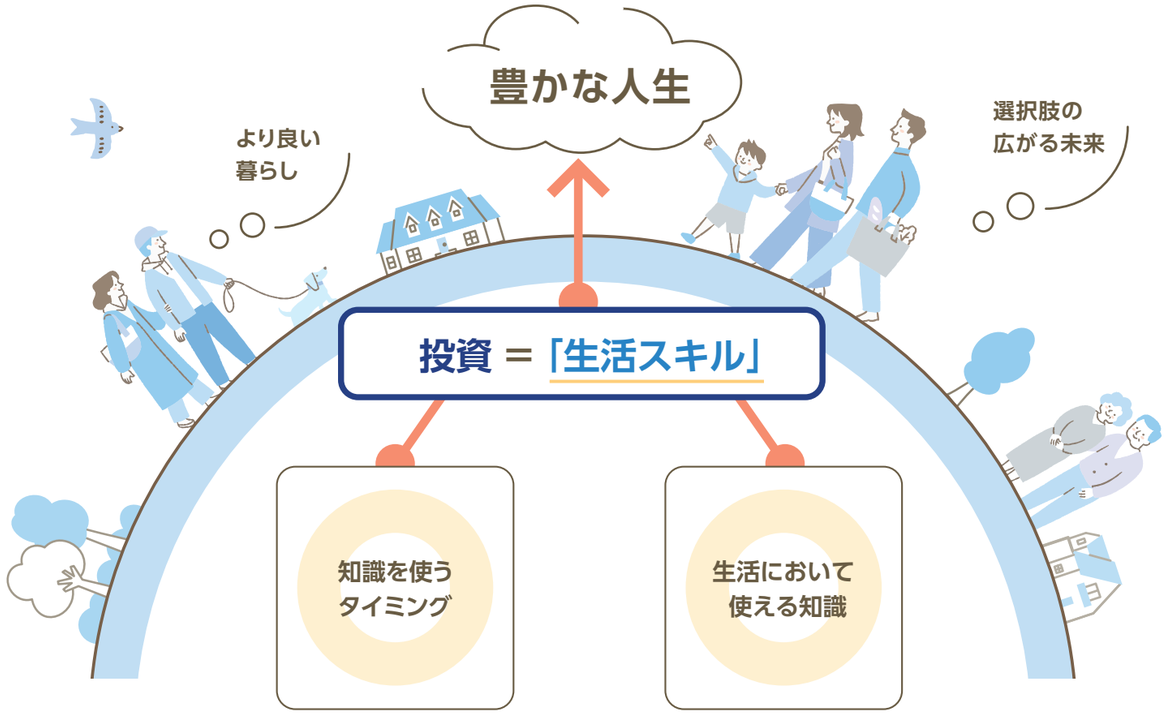
STEP 3 ぜんぞうを始めよう! …… P.17
ファンドの詳細情報はこちら

本書に記載の「ぜんぞう」は、2014年8月にあおぞら投信が設定、運用を開始した「あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型)2014-08」の愛称で、以降、同様の運用手法で設定しシリーズ化しているファンドの総称です。

＊ぜんぞう2510(以下「本ファンド」ということがあります。)の基準価額が15%上昇をすることを保証するものではありません。
上記の基準価額15%上昇とは、基準価額が11,500円に到達することですが、本ファンドの基準価額が11,500円以上にて安定的に推移することおよび、将来の運用成績を保証するものではありません。

「ぜんぞう」を通じてお届けしたい想い

投資を、より良い暮らしに欠かせない「生活スキル」にしてほしい



そのためにも、
より多くの成功体験をお届けしたいと思っています

収益率15%達成ファンド数 30ファンド

※2014年8月～2025年7月末、ぜんぞうシリーズ

実は...

販売当初、お客さまだけでなくファンド販売員の皆さまの本音も「15%なんて達成できるかしら?」というものでした。しかし成功体験を経験されたことで「本当に達成するのね!」に変化し、新たなステップを歩み始めています。あおぞら投信はより多くのお客さまにより良い投資機会をご提供できるよう、今後も努めてまいります。

※将来の運用成果をお約束するものではありません。

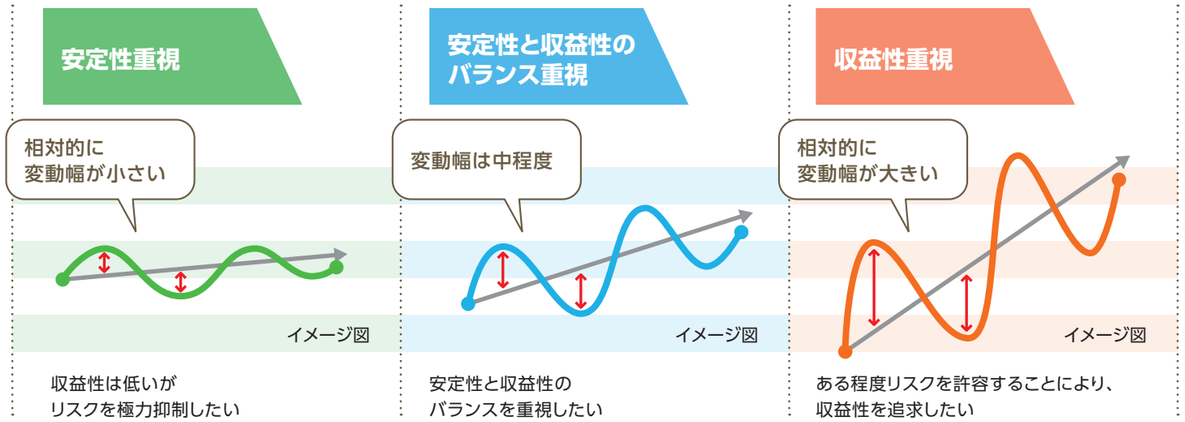
大きな損失が出ないか不安・・・

リスクを正しく理解して許容範囲を確認しましょう

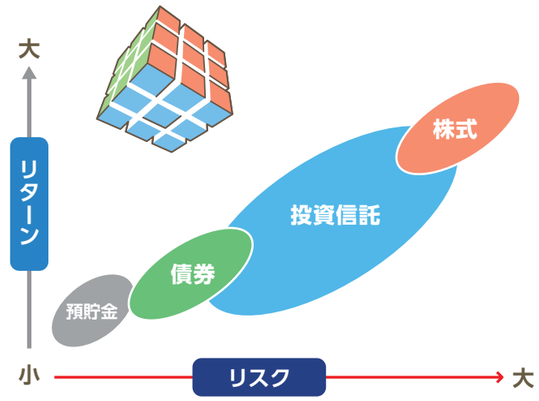
リスクとリターンは表裏一体

「リターン」とは、投資で得られる収益のことを指し、「リスク」とは、リターンの変動幅(ブレ)のことを指します。一般的に大きなリターンが期待できる商品は、その分「リスク」も大きく、損失も大きくなる可能性があります。これに対して、「リスク」を抑えようとすると、「リターン」も小さくなるという関係があります。

投資スタイルとリスク・リターン



投資対象とリスク・リターン



目的にあった金融商品を選びましょう!

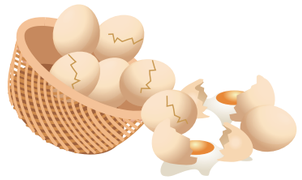
※上記はイメージ図であり、運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

何に投資をすればよいのでしょう?

分散投資とは?

卵はひとつのカゴに盛るな　投資の世界の格言

1つの資産に投資



全て割れてしまいます

値動きの異なるさまざまな種類の資産に**分散投資**すれば**リスクを抑え、安定性を増す**ことができます

さまざまな資産に投資

カゴを一つ落としても残りは無事です!

金融危機(リーマンショック)以降の資産別リターンと資産評価額の推移

資産別リターンの推移

順位＼年	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	10年間	15年間
1	先進国債券 3.7%	新興国株式 83.1%	新興国株式 3.6%	先進国債券 1.9%	新興国株式 33.0%	国内株式 54.4%	先進国株式 19.5%	国内株式 12.1%	新興国株式 7.9%	新興国株式 32.5%	先進国株式 64.6%	先進国株式 158.0%
2	グローバル分散投資* −30.7%	先進国株式 33.4%	先進国債券 1.6%	グローバル分散投資* −6.7%	先進国株式 30.3%	先進国株式 53.9%	グローバル分散投資* 11.5%	先進国債券 0.5%	先進国株式 4.3%	国内株式 22.2%	グローバル分散投資* 57.9%	グローバル分散投資* 99.0%
3	国内株式 −40.6%	グローバル分散投資* 25.7%	国内株式 1.0%	先進国株式 −10.4%	国内株式 20.9%	グローバル分散投資* 29.0%	新興国株式 11.4%	先進国株式 −0.6%	グローバル分散投資* 3.0%	先進国株式 18.1%	国内株式 51.4%	国内株式 77.5%
4	先進国株式 −51.8%	国内株式 7.6%	グローバル分散投資* −0.3%	国内株式 −17.0%	グローバル分散投資* 19.1%	新興国株式 18.4%	国内株式 10.3%	グローバル分散投資* −1.6%	国内株式 0.3%	グローバル分散投資* 12.1%	新興国株式 19.0%	新興国株式 29.1%
5	新興国株式 −62.1%	先進国債券 1.8%	先進国株式 −2.6%	新興国株式 −22.6%	先進国債券 1.7%	先進国債券 0.4%	先進国債券 1.6%	新興国株式 −14.7%	先進国債券 0.1%	先進国債券 −0.5%	先進国債券 13.6%	先進国債券 7.6%

※2008年から2017年は年間のリターン、10年間・15年間は2007年末を起点としたリターンを示しています。

2007年末に100万円を投資した場合の資産評価額の推移

資産＼年	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017		2022
A	48.2	64.2	62.6	56.0	73.0	112.4	134.3	133.5	139.3	164.6		258.0
B	69.3	87.2	86.9	81.1	96.6	124.6	138.9	136.8	140.9	157.9	～	199.0
C	59.4	63.9	64.5	53.6	64.7	99.9	110.2	123.5	123.9	151.4		177.5
D	37.9	69.4	71.9	55.6	74.0	87.6	97.5	83.2	89.8	119.0		129.1
E	103.7	105.5	107.2	109.3	111.2	111.6	113.4	114.0	114.1	113.6		107.6

(単位:万円)

A 先進国株式　B グローバル分散投資　C 国内株式　D 新興国株式　E 先進国債券

先進国株式：MSCIワールド・インデックス(ネット・配当込み、円換算ベース)、新興国株式：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(ネット・配当込み、円換算ベース)、先進国債券：FTSE世界国債インデックス(1-5年、円ヘッジベース)、国内株式：配当込みTOPIX
＊グローバル分散投資：上記の先進国株式、新興国株式、先進国債券を5:1:4の割合で合成したもの。
※インデックスには、直接投資できません。インデックスのパフォーマンスは、実際のポートフォリオ運用に係わる費用を反映していません。
過去の実績は、将来の運用成績を示唆・保証するものではありません。

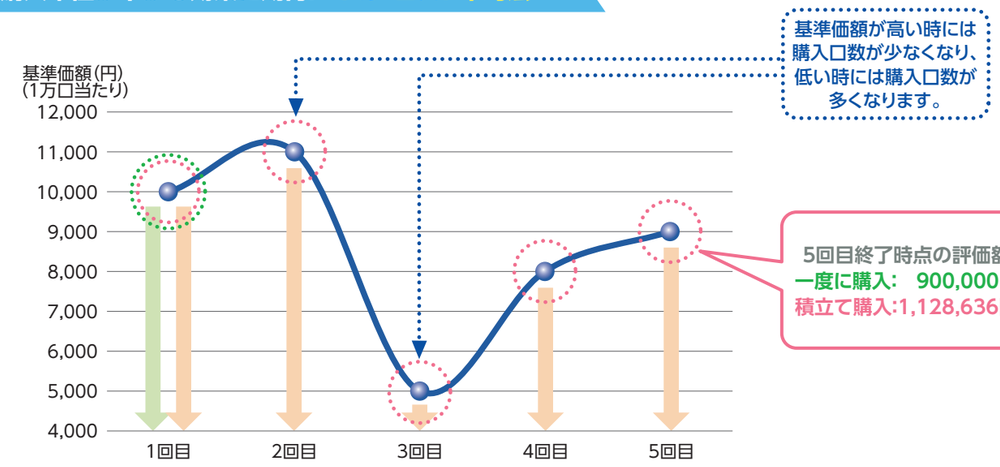
いつ始めたらよいかわからない・・・

時間分散とは?

購入時期を分散して高値掴みを回避!

一度に全額を投資するのではなく、複数回に分けて投資したり、毎月一定額を積み立てるなどの方法で、購入時期を分散させることによって、リスクを小さくすることができます。(ドル・コスト平均法)

平均購入単価が下がる効果に期待!　ドル・コスト平均法



基準価額	10,000円	11,000円	5,000円	8,000円	9,000円	購入金額合計	平均購入単価
一度に購入	1,000,000円 (1,000,000口)					1,000,000円 (1,000,000口)	10,000円
積立て購入	200,000円 (200,000口)	200,000円 (181,818口)	200,000円 (400,000口)	200,000円 (250,000口)	200,000円 (222,222口)	1,000,000円 (1,254,040口)	7,974円

定期的に一定金額分を購入

基準価額が高い時 → 少なく

基準価額が低い時 → 多く

※上記はあくまでもイメージ図であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。またすべてのケースを網羅しているものではありません。
※投資信託は値動きのある有価証券等に投資するため、基準価額は変動します。P.17のファンドの特色、P.19の投資リスク、P.20のお申込みメモ、ファンドの費用等を必ずお読みください。
※上記は時間分散効果をより深くご理解いただくためのイメージであり、本ファンドのシミュレーションではありません。一般的な時間分散効果について解説したものです。

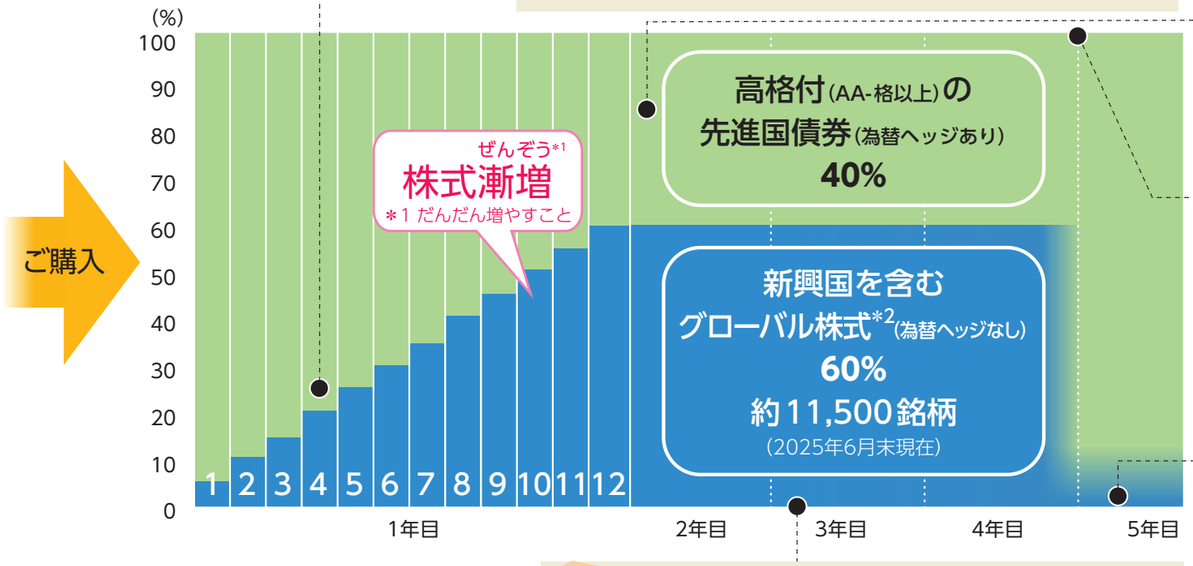
ぜんぞうは、お客さまがリスクと安心して向き合えるファンドです

あおぞら投信の2つの“くふう”

くふう1 **株式漸増** 株式の実質的な組入比率を計画的に段階的に引き上げることで、買付時期の分散を図ります。2

設定当初	1年経過後
グローバル株式:概ね 5% (先進国株式:概ね4%、新興国株式:概ね1%)	グローバル株式:概ね 60% (先進国株式:概ね50%、新興国株式:概ね10%)
先 進 国 債 券:概ね 95%	先 進 国 債 券:概ね 40%

くふう2 収益率15%達成後は安定的な債券運用へ切り替え、翌日から信託報酬を引き下げます。4



2 時間を分散
株式の組入比率を毎月末に5%ずつ段階的に引き上げて、1年かけて60%まで増やします。

1 資産分散と世界まるごと投資
組入れファンドの運用はディメンショナルが学術的研究を応用した運用を実践しています。

*2 先進国株式:約8,000銘柄 新興国株式:約3,500銘柄
(2025年6月末現在)

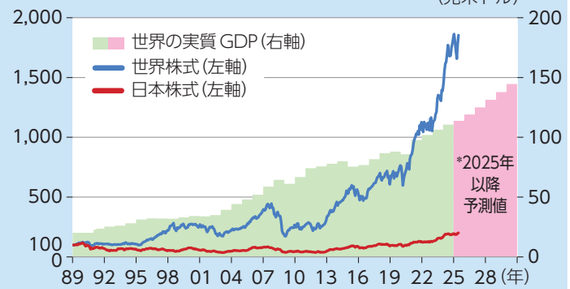
※上図はぜんぞうの運用の仕組みを時系列で示した概念図です。資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

本当に15%達成できるの?

世界経済は今後も成長を続けると考えます。
「ぜんぞう」は、5年で15%の成長を目指しています。

※世界株式:MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(グロス配当込み、円換算ベース)、日本株式:配当込みTOPIX。1989年1月末を100として指数化しています。
※右記は過去の実績およびIMFの予測であり、将来における運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
出所:IMF(国際通貨基金)World Economic Outlook Database April 2025、MSCI Inc.、東京証券取引所からのデータを基にあおぞら投信が作成。

世界/日本株式指数(1989年1月末~2025年6月末)と世界のGDPの推移*(1989年~2030年)



3 リバランス運用
2年目以降、毎月末にリバランス*3を行い、株式60%:債券40%の比率に戻します。
*3 リバランスとは価格変動によって変わった配分比率を元に戻すことです。

4 収益率15%達成後はリスクの低い安定的な債券運用へ切り替え、翌日から信託報酬を引き下げます。
- 11,500円達成後 リスクを抑え安定的な運用を目指します。
  先進国債券:概ね100%
- 信託報酬 通常時:年率1.335%(税込)程度
  安定的な債券運用時:年率1.09%(税込)程度

5 運用期間は約5年間
ぜんぞう2510の信託期間:
約5年(信託期間終了日:2030年10月21日)

※組入れファンドにおいて、先進国債券への投資については対円で為替ヘッジを行いますが、株式への投資については為替ヘッジを行いません。(ファンドの詳細については、P.17以降をご参照ください。)
(注)本ファンドの基準価額が11,500円以上となることを保証するものではありません。
市況動向等によっては安定的な債券運用への切り替えを速やかに行うことができない場合があります。また、市場の影響、安定的な資産に切り替わるまでの株式の価格変動の影響、または組入れファンドが速やかに売却できない場合等により、基準価額が11,500円以上となった日の翌営業日以降(安定的な債券運用への切り替え完了後も含みます。)の基準価額が11,500円を下回る場合があります。
上記の一定水準(11,500円)は、あくまでも安定的な債券運用に切り替えるための価額水準であり、本ファンドの基準価額が11,500円以上にて安定的に推移することを示唆あるいは保証するものではありません。先進国債券の格付は、組入れファンドの運用会社の定義に基づきます。

「ぜんぞうシリーズ」の成績表

数多くのファンドが、基準価額11,500円を達成しています。

●償還済みのファンド

ファンド名	設定日	11,500円到達日	到達までの期間(約)	11,500円達成	運用中/償還済
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2014-08 愛称:ぜんぞう	2014/8/5	2018/1/23	3年6ヶ月	達成	満期償還
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2015-02 愛称:ぜんぞう1502	2015/2/27	–	–	プラスで終了 償還価格10,960.94円	満期償還*
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2015-05 愛称:ぜんぞう1505	2015/5/29	2018/1/5	2年7ヶ月	達成	繰上償還
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2015-08 愛称:ぜんぞう1508	2015/8/28	2017/10/19	2年2ヶ月	達成	繰上償還
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2016-02 愛称:ぜんぞう1602	2016/2/26	2017/10/23	1年8ヶ月	達成	繰上償還
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2016-05 愛称:ぜんぞう1605	2016/5/31	2018/1/5	1年7ヶ月	達成	繰上償還
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2017-02 愛称:ぜんぞう1702	2017/2/28	2021/2/17	4年	達成	繰上償還
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2017-04 愛称:ぜんぞう1704	2017/4/26	2021/3/9	3年10ヶ月	達成	満期償還
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2017-09 愛称:ぜんぞう1709	2017/9/29	2021/4/1	3年6ヶ月	達成	満期償還
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2018-02 愛称:ぜんぞう1802	2018/2/28	2021/3/9	3年	達成	繰上償還
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2018-04 愛称:ぜんぞう1804	2018/4/27	2021/3/9	2年10ヶ月	達成	繰上償還
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2018-07 愛称:ぜんぞう1807	2018/7/31	2021/2/17	2年7ヶ月	達成	繰上償還
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2018-10 愛称:ぜんぞう1810	2018/10/31	2021/2/9	2年3ヶ月	達成	繰上償還
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2019-01 愛称:ぜんぞう1901	2019/1/31	2021/3/8	2年1ヶ月	達成	繰上償還
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2019-04 愛称:ぜんぞう1904	2019/4/25	2021/2/17	1年10ヶ月	達成	繰上償還
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2019-07 愛称:ぜんぞう1907	2019/7/31	2021/2/17	1年7ヶ月	達成	繰上償還
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2019-10 愛称:ぜんぞう1910	2019/10/31	2021/2/17	1年4ヶ月	達成	繰上償還
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2020-01 愛称:ぜんぞう2001	2020/1/31	2021/3/8	1年1ヶ月	達成	繰上償還
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2020-04 愛称:ぜんぞう2004	2020/4/24	2021/4/12	1年	達成	繰上償還
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2020-07 愛称:ぜんぞう2007	2020/7/31	2021/11/17	1年4ヶ月	達成	繰上償還
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2020-10 愛称:ぜんぞう2010	2020/10/30	2023/7/4	2年8ヶ月	達成	繰上償還

*ぜんぞう1502は2019年12月10日に満期償還しました。

※上記は過去の実績であり将来の運用成績を示唆あるいは保証するものではありません。

●償還済みのファンド (つづき)

ファンド名	設定日	11,500円到達日	到達までの期間(約)	11,500円達成	運用中/償還済
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2021-01 愛称:ぜんぞう2101	2021/1/29	2024/1/26	3年	達成	繰上償還

●運用中のファンド (2025年7月末現在)

ファンド名	設定日	11,500円到達日	到達までの期間(約)	11,500円達成	運用中/償還済
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2021-04 愛称:ぜんぞう2104	2021/4/23	2024/2/26	2年10ヶ月	達成	運用中
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2021-07 愛称:ぜんぞう2107	2021/7/30	2024/4/30	2年9ヶ月	達成	運用中
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2021-10 愛称:ぜんぞう2110	2021/10/29	2024/4/30	2年6ヶ月	達成	運用中
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2022-01 愛称:ぜんぞう2201	2022/1/28	2024/5/9	2年3ヶ月	達成	運用中
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2022-04 愛称:ぜんぞう2204	2022/4/22	2024/3/21	1年11ヶ月	達成	運用中
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2022-07 愛称:ぜんぞう2207	2022/7/29	2024/4/30	1年9ヶ月	達成	運用中
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2022-10 愛称:ぜんぞう2210	2022/10/28	2024/4/30	1年6ヶ月	達成	運用中
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2023-01 愛称:ぜんぞう2301	2023/1/31	2024/5/21	1年4ヶ月	達成	運用中
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2023-04 愛称:ぜんぞう2304	2023/4/25	2025/7/11	2年3ヶ月	達成	運用中
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2023-07 愛称:ぜんぞう2307	2023/7/28	–	–		運用中
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2023-10 愛称:ぜんぞう2310	2023/10/31	–	–		運用中
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2024-01 愛称:ぜんぞう2401	2024/1/31	–	–		運用中
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2024-04 愛称:ぜんぞう2404	2024/4/24	–	–		運用中
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2024-07 愛称:ぜんぞう2407	2024/7/31	–	–		運用中
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2024-10 愛称:ぜんぞう2410	2024/10/31	–	–		運用中
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2025-01 愛称:ぜんぞう2501	2025/1/31	–	–		運用中
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2025-04 愛称:ぜんぞう2504	2025/4/25	–	–		運用中
あおぞら・新グローバル分散ファンド(限定追加型) 2025-07 愛称:ぜんぞう2507	2025/7/31	–	–		運用中

「ぜんぞう」は、2014年のファンド設立以来、市場の動きが好調な　時も、厳しい時も成長を続けてきました

世界株式*の動きとぜんぞうシリーズの設定時期 (2014年8月5日～2025年7月31日)

＊ MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(ネット・配当込み、円換算ベース)

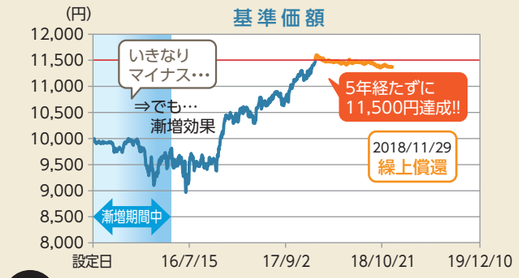
出所:MSCI Incのデータを基にあおぞら投信が作成。2014年8月5日を100として指数化しています。

～ぜんぞうはタイミングを選ばない～ 特徴的な値動きのファンドをピックアップ

❶ ぜんぞう1408　満期償還済み

Check Point
スタート時:上昇基調
漸増期間終了直後:大幅下落
➡ 11,500 円達成

❸ ぜんぞう1505　繰上償還済み

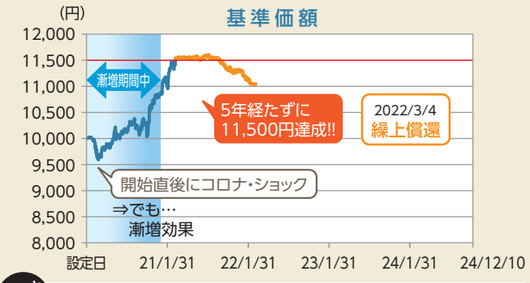


Check Point
スタート時:下落基調
漸増期間終了後:回復傾向
➡ 11,500 円達成

⓭ ぜんぞう1810　繰上償還済み

Check Point
スタート時:レンジ相場
漸増期間終了後:大幅下落後に回復
➡ 11,500 円達成

⓲ ぜんぞう2001　繰上償還済み



Check Point
スタート時:大幅下落後に回復
漸増期間終了後:回復傾向
➡ 11,500 円達成

〈必ずお読みください〉

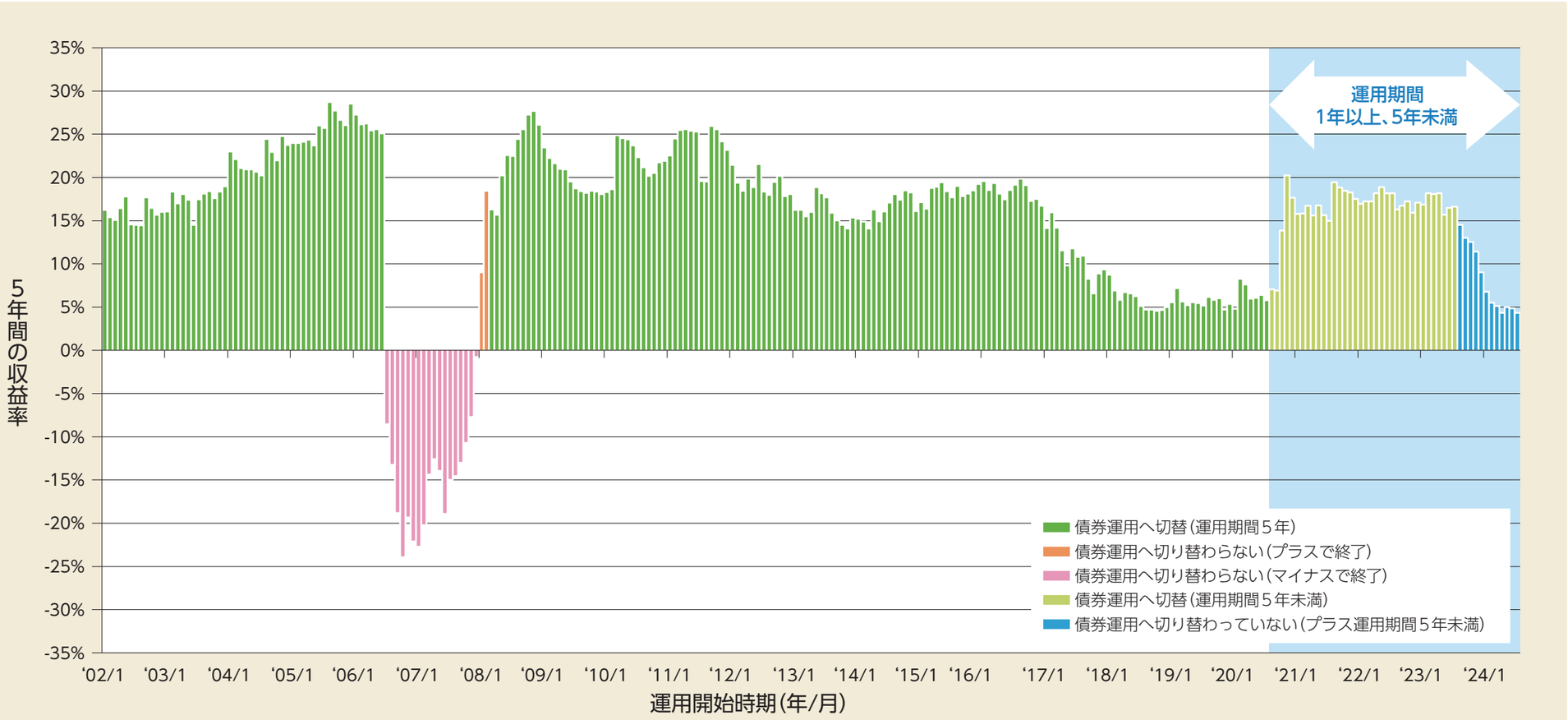
※上記はすべてのケースを説明しているものではありません。※本ファンドの基準価額が11,500円以上になることを保証するものではありません。市場動向等によっては安定的な債券運用への切り替えを速やかに行うことができない場合があります。また、市場の影響、安定的な資産に切り替わるまでの株式の価格変動の影響、または組入れファンドが速やかに売却できない場合等により、基準価額が11,500円を下回る場合があります。上記の一定水準(11,500円)は、あくまで安定的な債券運用に切り替えるための価格水準であり、本ファンドの基準価額が11,500円以上にて安定的に推移することを示唆あるいは保証するものではありません。※過去の実績は将来の運用成績を示唆あるいは保証するものではありません。

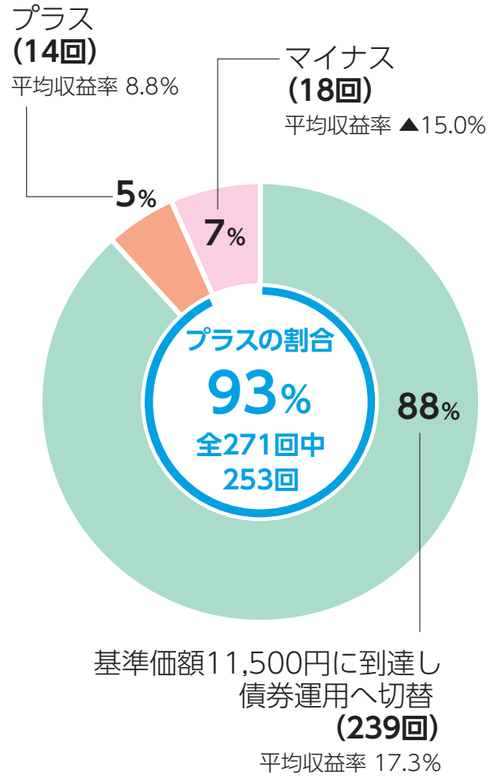
過去のインデックスデータを用いたシミュレーション

2002年1月以降、全ての月で「ぜんぞう型」の収益率をシミュレー ションした結果、プラスの割合は93%でした

全シミュレーション結果 (運用期間5年、2002年1月～2025年6月の全271回)

運用開始月を2002年1月から2024年7月まで1ヶ月ずつずらして計算しています。
運用開始月2020年8月～ 2024年7月(48回)は2025年6月末までの収益率を記載しています。(運用期間は1年以上、5年未満)





基準価額11,500円に到達し
債券運用へ切替
(239回)
平均収益率 17.3%

上記はシミュレーションであり、すべての ケースを説明しているものではありません。

インデックスには、直接投資できません。インデックスのパフォーマンスは、実際のポートフォリオ運用に係わる費用を反映していません。インデックスのパフォーマンスと組入れファンドのパフォーマンスは異なります。過去の実績は将来の運用成績を示唆あるいは保証するものではありません。

【本シミュレーションで使用している指数について】

<先進国株式> MSCIワールド・インデックス(ネット、配当込み、円換算ベース) MSCIワールド・インデックスとは、MSCIが開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。MSCIワールド・インデックス(ネット、配当込み、円換算ベース)は、MSCIワールド・インデックス(ネット、配当込み、米ドルベース)を基に委託会社が算出したものです。<新興国株式> MSCIエマージング・マーケット・バリュー・インデックス(ネット、配当込み、円換算ベース) MSCIエマージング・マーケット・バリュー・インデックスとは、MSCIが開発した株価指数で、世界の新興国のバリュー株式で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・バリュー・インデックス(ネット、配当込み、米ドルベース)を基に委託会社が算出したものです。<先進国債券> FTSE世界国債インデックス(1-5年、円ヘッジベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界の国債の総合利回りを指数化した債券インデックスです。

組入れファンドの運用会社のご案内

学術的調査に基づいた投資哲学を実践しています

ディメンショナルって?

▶組入れファンドの運用

組入れファンドの運用は、ディメンショナル・アイルランド・リミテッドが行います。ディメンショナルは、ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ・リミテッドおよびその関係会社の総称です。経済分野で世界的に著名な学識経験者がディメンショナルのコンサルタントを務めており、ディメンショナルは学術的研究を応用した運用を実践しています。

Dimensional

ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ

1981年創立
運用資産残高:8,526億米ドル(約123兆円)
従業員数:1,600名超
※2025年6月末現在、1米ドル=144.00円で換算

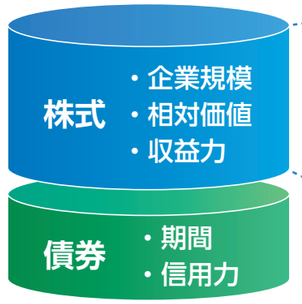
出所:ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ

上記「ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ(「ディメンショナル」、「ディメンショナル社」または「Dimensional」ということがあります。)」とは、特定の事業体を示すものではなく、世界各国に展開するディメンショナルのグループ企業である Dimensional Fund Advisors LP, Dimensional Fund Advisors Ltd., DFA Australia Limited, Dimensional Fund Advisors Canada ULC, Dimensional Fund Advisors Pte. Ltd., Dimensional Ireland Limited., Dimensional Japan Ltd.とDimensional Hong Kong Limitedを指します。

▶ディメンショナルの投資手法

[長期リターンが期待できる特性に着目]

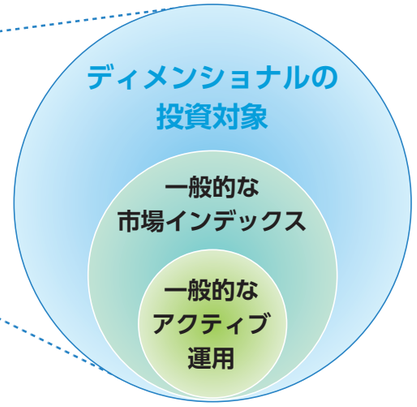
学術研究から得られた特性



長期的・安定的に、一般的なインデックスを上回る収益を目指しています

[株式投資の範囲]

幅広い銘柄に分散投資



※市況動向や資金動向その他の要因等によっては、上記運用プロセスのような運用ができない場合があります。また、上記運用プロセスは変更される場合があります。
※上記は組入れファンドの運用プロセスについて、委託会社が作成したものです。

投資を科学し、お客さまに付加価値の提供を目指します

Dimensional

ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズ

1981年創立

値上がりする銘柄を上手く選べる運用者の数は、確率的に、期待するよりはるかに少ない数しかいません。であれば、なぜそのような運用者を探すのでしょう。その必要はありません。

デービッド・ブース氏
[創業者、チェアマン]

01 市場に対する揺るぎない信頼

新たに発表された研究については慎重に見極め、万全なものかどうかを確認します。

ユージン・ファーマ教授
[ノーベル経済学賞受賞、ディメンショナル・ディレクター[1] コンサルタント[2]]

02 アイディアの源泉 金融サイエンス

Dimensional 理念

03 お客様へのコミットメント

これまでも、そしてこれからも、お客様に素晴らしい経験をしていただくこと。
それが私たちの仕事だ。

デーブ・バトラー氏
[共同チーフ・エグゼクティブ・オフィサー ディメンショナル・ディレクター[1]]

01

ディメンショナルの投資アプローチは、経済理論に基づき、何十年に及ぶ実証実験に裏打ちされたものです

信頼性の低い予測をあてにしたり他者を先読みするのではなく、市場そのものから期待リターンに関する情報を導き出します。

02

ディメンショナルの投資アプローチは、市場に対する信頼に基づいています

同社のリサーチ・チームは、リターンを追求するに当たって、第一線の金融エコノミストと連携しています。
これまでの研究により、期待リターンを生み出す証券には共通の特性があり、私たちはそれを「ディメンション」と呼んでいます。「ディメンション」と認定されるには、説得力があり、持続性があり、普遍性があり、コスト効率が良いという特性が満たされなければなりません。

03

ディメンショナルの運用は、お客様の投資の成功体験をもたらすことを目指しています

それは、単に投資リターンへの考察だけにとどまりません。
何十年もの研究に裏付けられた明瞭なアプローチがあらゆる意思決定を支えていることを理解していただき、お客様に安心してもらうことです。
市場は好調な時もあれば厳しい時もあります。ディメンショナルのゴールは、市場の動きに十分備え、投資プランを守り続けることができる運用サービスをお客様に提供することです。

1 ディメンショナル・ディレクターは、Dimensional Fund Advisors LPの実質親会社(ジェネラル・パートナー)の取締役を指します。
2 ユージン・ファーマ教授は、Dimensional Fund Advisors LPにコンサルティング・サービスを提供しています。
※ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズの許可を得て使用。©2025 Dimensional Fund Advisors. All rights reserved.

ファンドの特色

特色1 世界の株式・債券に分散投資

投資信託証券を通じて日本を含む世界の株式（新興国の株式を含みます。）および債券に広く分散投資を行うことで、インカムゲインの獲得と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。

■投資する外国投資信託証券（以下、「組入れファンド」といいます。）

先進国株式　ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー　グローバル・コア・エクイティ・ファンド
新興国株式　ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー　エマージング・マーケット・バリュー・ファンド
先進国債券　ディメンショナル・ファンズ・ピーエルシー　グローバル・ショート・フィクスト・インカム・ファンド

※組入れファンドにおいて、先進国債券への投資については対円で為替ヘッジを行いますが、株式への投資については為替ヘッジを行いません。

※本ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。

特色2 株式の組入比率を段階的に引き上げます。*

株式の実質的な組入比率を計画的に段階的に引き上げることで、買付時期の分散を図ります。

特色3 基準価額が一定水準達成後は安定的な債券運用に切り替え*、翌日から信託報酬を引き下げます。

基準価額が11,500円以上となった場合には、一定期間内で株式の実質的な組入比率を引き下げ、債券ならびに短期金融商品等に投資する運用に切り替えることを基本とします。

※基準価額（支払済の分配金（税引前）累計額は加算しません。）が11,500円に到達した後も運用は信託期間終了日まで継続されるため、基準価額は変動します。基準価額が11,500円に到達しての償還、買取をお約束するものではありません。

信託報酬は、設定当初から基準価額が一定水準達成まで（通常時）は年率1.335%（税込）程度、安定的な債券運用に切り替え後は年率1.09%（税込）程度となります。

上記に記載の信託報酬は、本ファンドの信託報酬に投資対象とする投資信託証券の運用報酬を合わせた、投資者が実質的に負担する信託報酬です。

特色4 学術的研究に基づく運用

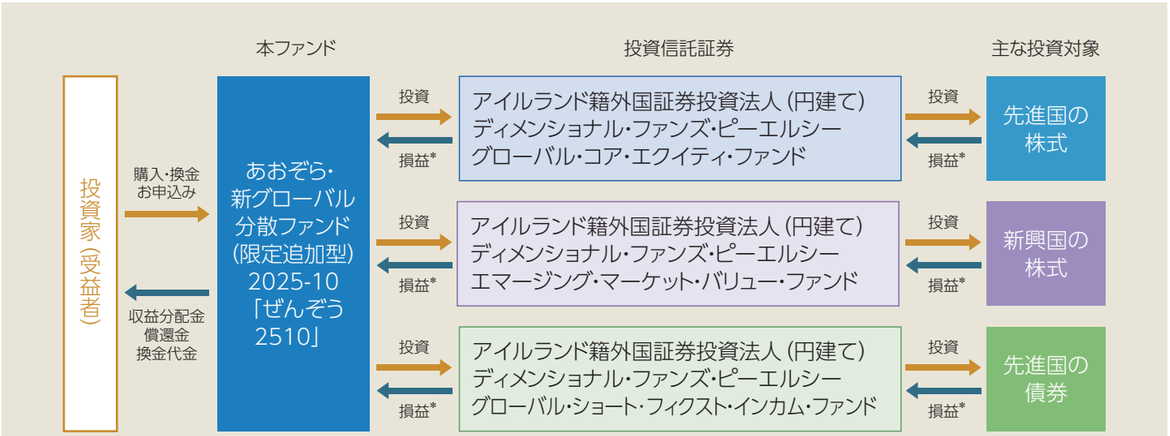
組入れファンドの運用は、学術的研究に基づく運用を実践する「ディメンショナル・アイルランド・リミテッド」が行います。

*あおぞら投信が組入れファンドの比率を変更することにより行います。

市況動向や資金動向その他の要因等によっては、運用方針に従った運用ができない場合があります。

ファンドの仕組み

本ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。運用にあたってはディメンショナル・アイルランド・リミテッドが運用する投資信託証券のうち、本ファンドの運用戦略を行うために必要と認められる下記の投資信託証券を主要投資対象とします。



*損益はすべて投資家である受益者に帰属します。

※上記は有価証券届出書提出日現在予定されている指定投資信託証券の一覧です。指定投資信託証券については見直されることがあります。この場合、新たに投資信託証券を指定したり、既に指定されていた投資信託証券を除外する場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資を行いますので、基準価額は変動します。また、為替の変動による影響を受けます。したがって、**投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**本ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資家の皆さまに帰属します。

主な変動要因

株価変動リスク

本ファンドは実質的に株式に投資を行いますので、株価変動リスクを伴います。一般に株式市場が下落した場合には、本ファンドが実質的に投資を行う株式の価格は下落し、本ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。また、株式の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合、当該企業の株式の価格が大きく下落し、本ファンドの基準価額により大きな影響を及ぼします。なお、本ファンドは一部新興国の株式に投資を行いますが、新興国の株価変動は先進国以上に大きいものになることが予想されます。

為替変動リスク

本ファンドの実質的な主要投資対象は外貨建資産であり、一般に為替変動リスクを伴います。本ファンドの株式部分については原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を直接的に受け、円高局面ではその資産価値を大きく減少させる可能性があります。本ファンドの債券部分については、投資対象ファンドにおいて為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、投資対象資産および投資対象資産から生じる収益の全てを完全にヘッジできるとは限りません。なお、為替ヘッジを行うにあたりヘッジ・コストがかかります(ヘッジ・コストとは、ヘッジ対象通貨の金利と円金利の差に相当し、円金利の方が低い場合この金利差分収益が低下します。)。

債券価格変動リスク

本ファンドは実質的に債券に投資を行いますので、債券価格変動リスクを伴います。一般に債券の市場価格は、金利が上昇すると下落し、金利が低下すると上昇します。投資対象とする国・地域の金利が上昇し、保有する債券の価格が下落した場合には、本ファンドの基準価額が下落し投資元本を割り込むことがあります。また、債券への投資に際しては、発行体の債務不履行(デフォルト)等の信用リスクを伴います。一般に、発行体の信用度は第三者機関による格付で表されますが、格付が低いほど債務不履行の可能性が高いことを意味します。発行体の債務不履行が生じた場合、債券の価格は大きく下落する傾向があるほか、投資した資金を回収できないことがあります。また、債務不履行の可能性が高まった場合(格下げ等)も債券価格の下落要因となります。一般に、債券価格の変動幅および信用リスクは、残存期間が長いほど、また発行体の信用度が低いほど、大きくなる傾向があります。

カントリー・リスク

本ファンドの株式部分において、一部新興国の株式に投資を行いますので、カントリー・リスクを伴います。新興国市場への投資には、先進国市場への投資と比較して、社会・政治・経済の不確実性、市場規模が小さい故の低い流動性、通貨規制および資本規制、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートや現地通貨交換に要するコストの大きな変動、外国への送金規制等の影響を受けて、本ファンドの基準価額が大きく変動する可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」および目論見書補完書面をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせください。

お申込みメモ

購入の申込期間	当初申込期間:2025年10月1日から2025年10月30日まで 継続申込期間:2025年10月31日から2025年12月30日まで
購入単位	販売会社により異なります。
購入価額	当初申込期間:1口当たり1円(1万口当たり1万円) 継続申込期間:購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	当初申込期間:当初申込期間中にお申込みの販売会社にお支払いください。 継続申込期間:販売会社が指定する日までにお支払いください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目から、お申込みの販売会社を通じてお支払いいたします。
購入・換金申込不可日	アイルランド証券取引所の休業日、ロンドン証券取引所の休業日またはニューヨーク証券取引所の休業日
信託期間	2030年10月21日まで(設定日:2025年10月31日) ※委託会社は、信託期間の延長が受益者に有利であると認めた場合は、信託期間を延長することができます。
繰上償還	受益権の総口数が10億口を下回ることとなった場合等には繰上償還となる場合があります。
決算日	毎年10月20日(ただし、休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回(10月20日)の決算時に原則として収益の分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ※本ファンドは中長期的な信託財産の成長に資するため、収益分配金は少額に抑えることを基本とします。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。 本ファンドは、NISAの対象ではありません。 配当控除の適用はありません。原則、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益(法人の場合は個別元本超過額)が課税の対象となります。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入価額に、**2.75%(税抜2.5%)を上限**として販売会社毎に定める率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	なし

投資者が信託財産で間接的に負担する費用			通常時	安定的な債券運用時[*3]
運用管理費用(信託報酬)	本ファンドの運用管理費用(信託報酬):純資産総額に対して		年率1.10%(税抜1.00%)	年率0.88%(税抜0.80%)
	投資対象とする投資信託証券の運用報酬:資産総額に対して		最大で年率0.235%程度[*1]	最大で年率0.21%程度[*1]
	実質的な負担:純資産総額に対して		**年率1.335%(税込)程度[*2]**	**年率1.09%(税込)程度[*2]**
	*1 投資対象とする投資信託証券を、投資方針に基づき組入れた場合の最大値を委託会社が算出したものです。 *2 本ファンドの信託報酬に本ファンドが投資対象とする投資信託証券の運用報酬を合わせた、投資者が実質的に負担する信託報酬です。 *3 基準価額が11,500円に到達し、安定的な債券運用に移行した場合は、その翌日から信託報酬を引き下げます。 ※運用管理費用は、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。			
その他の費用・手数料	信託事務の諸費用	監査費用、印刷費用等、信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.1%を上限として日々計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。また、投資対象とする投資信託証券において管理報酬等が別途加算されますが、当該投資信託証券の資産規模ならびに運用状況等に応じて変動するため、受益者が実質的に負担する当該管理報酬等の率および総額は事前に表示することができません。		
	売買委託手数料等	有価証券売買時の売買委託手数料、借入金・立替金の利息、ファンドに関する租税等がファンドから支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。		

※上記手数料等の合計額については、ファンドの保有期間に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社その他関係法人の概要について

●**あおぞら投信株式会社(委託会社)** :信託財産の運用の指図等を行います。
●**三井住友信託銀行株式会社(受託会社)** :信託財産の保管・管理等を行います。
●**販売会社** :本ファンドの販売業務等を行います。
販売会社については下記の照会先までお問い合わせください。

【照会先】あおぞら投信株式会社
電話:050-3199-6343(受付時間:営業日の午前9時から午後5時まで)　ホームページ・アドレス: https://www.aozora-im.co.jp/

これまでの「ぜんぞうシリーズ」の基準価額の推移 (償還済みのみ、2025年6月末現在)

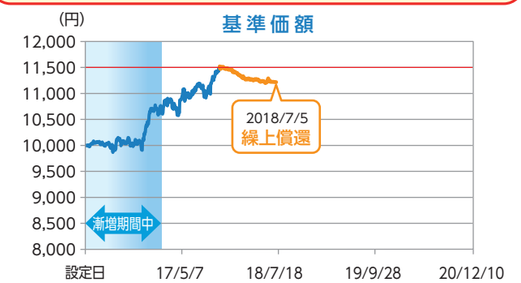
❶ ぜんぞう1408 満期償還済み

❷ ぜんぞう1502 満期償還済み

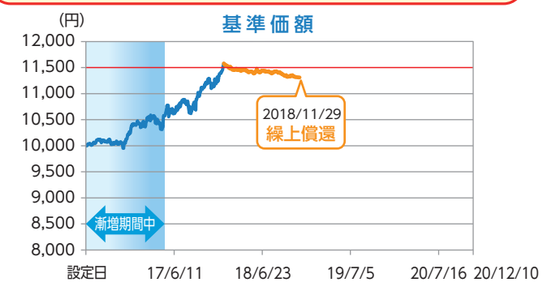
❸ ぜんぞう1505 繰上償還済み

❹ ぜんぞう1508 繰上償還済み

❺ ぜんぞう1602 繰上償還済み



❻ ぜんぞう1605 繰上償還済み



❼ ぜんぞう1702 繰上償還済み

❽ ぜんぞう1704 満期償還済み

※過去の実績は将来の運用成績を示唆あるいは保証するものではありません。P.11の〈必ずお読みください〉をご覧ください。

❾ ぜんぞう1709 満期償還済み

❿ ぜんぞう1802 繰上償還済み

⓫ ぜんぞう1804 繰上償還済み

⓬ ぜんぞう1807 繰上償還済み

⓭ ぜんぞう1810 繰上償還済み

⓮ ぜんぞう1901 繰上償還済み

⓯ ぜんぞう1904 繰上償還済み

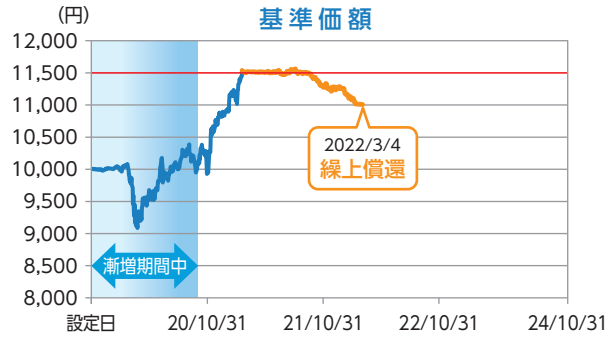
⓰ ぜんぞう1907 繰上償還済み

次頁へつづく

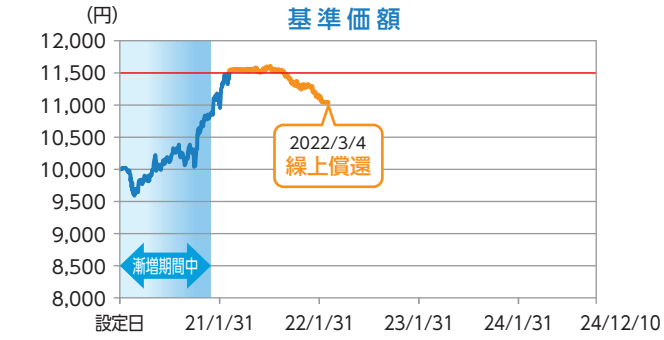
※過去の実績は将来の運用成績を示唆あるいは保証するものではありません。P.11の〈必ずお読みください〉をご覧ください。

これまでの「ぜんぞうシリーズ」の基準価額の推移（つづき）

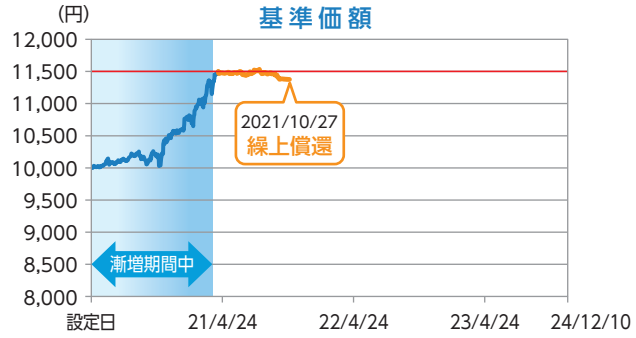
⑰ ぜんぞう1910　繰上償還済み



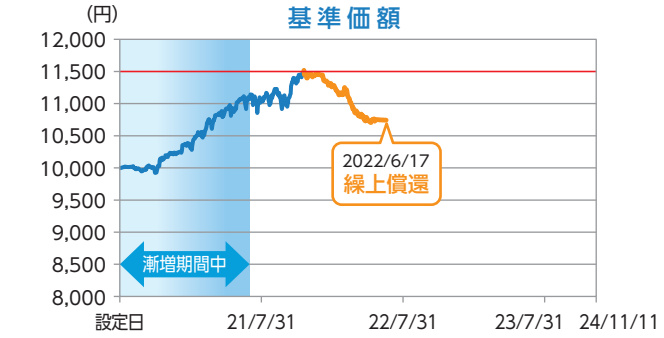
⑱ ぜんぞう2001　繰上償還済み



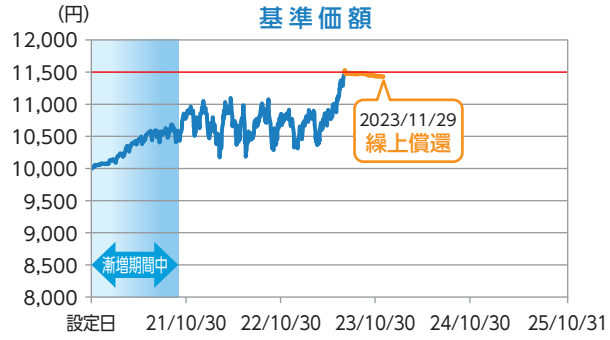
⑲ ぜんぞう2004　繰上償還済み



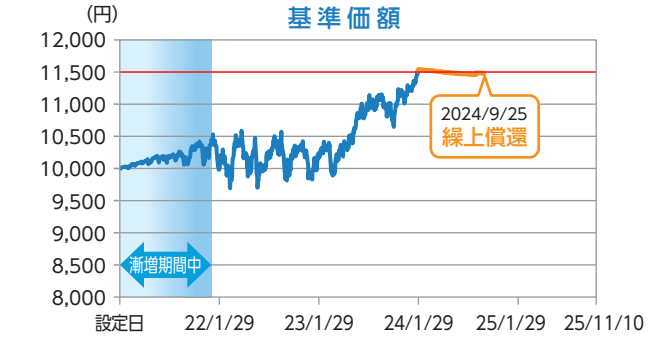
⑳ ぜんぞう2007　繰上償還済み



㉑ ぜんぞう2010　繰上償還済み



㉒ ぜんぞう2101　繰上償還済み



※過去の実績は将来の運用成績を示唆あるいは保証するものではありません。P.11の〈必ずお読みください〉をご覧ください。